

株式会社高畑精麦

一般型

試作開発+設備投資

## 精麦の生産履歴情報提供システム構築

大麦に研磨加工を中核とした幾つかの加工(乾燥・異物除去等)を施すことによって生産する精麦製品の製造及び販売における生産履歴情報を正確・迅速に提供できる「精麦トレーサビリティシステム」を構築し、製品開発のスピード向上や、食の安全・安心への対応を強化する。

### Q 取組の背景

Background of efforts

大麦に研磨を中核とした加工を施す粒体製品を、主に発酵食品の原料として麦焼酎や麦味噌など発酵食品のメーカー様に利用いただく精麦業。製品の生産履歴(トレーサビリティ)情報の作成については、従来、各生産工程での帳票類からデータをピックアップするなど全て手作業だったため、ミス・所要時間の増加や、提供できる情報量に限界があるなどの課題が生じていた。そこで、トレーサビリティ業務における精度・スピード・効率の向上や、運用コストの削減を目指す精麦トレーサビリティシステムを構築し、お客様による「新製品開発スピード・発酵工程の効率化技術」の向上や「食の安全・安心体制」の確立などの高度化ニーズに寄与する。

### 事業の実施内容

Implementation content

当社業務部に精麦トレーサビリティシステムの構築プロジェクトチームを発足して、事前準備を含む次の4ステップで本事業に取り組む。

- ①原料のトレーサビリティに関して、発酵食品メーカー様による詳細なニーズや、当社内での作業状況を当社で調査・分析する。
- ②お客様ニーズや作業状況の調査・分析に基づいた精麦トレーサビリティシステムの基本構造を検討・設計。
- ③精麦トレーサビリティシステムの構築に適切なベースシステム(販売系ERP)や、データベースソフト、開発ソフトを選定・契約【図1】。
- ④ベースシステム類を組み合わせ、カスタマイズし、精麦トレーサビリティシステムを構築して運用する。



【図1】

- ①物流トレーサビリティシステム(ERP)  
※カスタマイズの基礎となる。
- ②SQL Server Standard Edition 2012ライセンス  
※複数端末での利用や、データ保護に必要なデータベース。
- ③Visual Studio Professional(DVD)  
※カスタマイズに必要な設計開発キット。
- ④風神レポート開発キット  
※運用時に必要な帳票様式を作成。

### 事業の成果

Achievement

当社独自となるカスタマイズを施したトレーサビリティシステムを構築したことで、以下の業務効率や正確性、強度等が向上できた。

- ・トレーサビリティシステムの更新処理スピードは1秒以内に収まり、準リアル(即時)に処理が可能となった。
  - ・生産履歴に関する全ての情報を1つのサーバー上においたことで、情報の一元化による正確率は、ほぼ100%。
  - ・社内サーバーへのアクセス権限を端末に与えて、拠点の増加やモバイルPCに対応できる柔軟性が向上した。
  - ・毎朝、システム起動時に自動でデータバックアップされるため、直近10日分のデータ保持が可能となり、データ保護力強化率が約40%アップ。
  - ・経理システムとの連携性向上率は約20%向上し、業務の効率化につながった。
- これにより、トレーサビリティ業務の課題であった

ミスの削減や時間短縮が図れ、さらに、全ての情報をお客様へ提供できるようになった。また、当該業務の精度・スピードの向上と運用コスト削減にもつながったことで、本事業の目的である「新製品開発スピード・発酵工程の効率化技術」の向上や「食の安全・安心体制」の確立などの高度化ニーズへの寄与も可能となった。

### 今後の展望

Future prospects

正確かつスピーディなトレーサビリティ情報の提供を実現し、従来のお客様である発酵食品メーカー様の他に、新しい食品市場における食品関連メーカー様へのアピールで顧客層を広げる。また、将来的には食品メーカー様が当社の生産履歴のデータベースをインターネット経由で直接検索して必要な情報を入手できる構図を確立する。これにより、広範な製品開発や新たな食品市場の開拓につなげながら需要の掘り起こしに寄与する。その結果として、現在、全国シェア約8%を誇る当社の精麦製品出荷量を、システム構築から5年後の2020年には、潜在市場の開拓も鑑みた150%増の出荷量と売上高を目指す。

### 現場の声



従来、お客様となる発酵食品メーカー様に、手書きで作成した精麦製品のトレーサビリティ情報資料をお渡ししていました。その資料の作成には作成者の知識が必要だったため、ベテラン社員から新人社員へ、情報資料作成のノウハウを教える必要もあり、とても効率的な業務とは言えませんでした。

新システムを導入してからは、導入システムの操作方法を教えるだけで、誰もがすぐに使えるようになったので、教える側と教えられる側の双方で効率化が図れました。

また、在庫管理がしやすくなり、帳票の様式変更や、ちょっとしたシステムの変更が容易にできるなど利便性にも優れています。

## COMPANY PROFILE



株式会社高畑精麦

所在地 〒765-0061  
香川県善通寺市吉原町2392番地1

TEL 0877-62-2323

設立 1888年2月

代表者 高畑 光宏

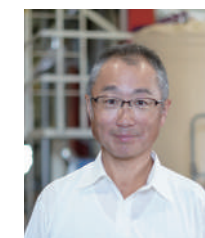
業種 精麦・飼料製造業、  
小麦粉・製麺販売業、倉庫業

従業員数 30名

URL <http://www.takabatake.co.jp/>  
<http://www.hadakamugi.jp/>

### 事業内容

明治21年、食料を扱う卸問屋として創業。以来、人々の生活の重要な糧である大麦を中心とした穀物の製造・販売と、これに付帯する事業にて展開。今日に至るまで日本国内はもとより、世界というグローバルな視点から穀物の未来を見据えて、2015年、食品安全マネジメントシステムに関する国際認証規格「ISO22000」を取得。穀物を使ったオリジナル食品の製造・販売も手掛けている。



代表取締役 高畑 光宏

未来の子どもたちが、もっと安心できる「食」のために、安全でおいしい穀物をつくりたい。

日本人の食生活には、大麦や米などの穀物が欠かせません。そんな口に入れる食品だからこそ、日本で一番信頼される精麦会社でありたい、安全な穀物を食卓にお届けできる会社であり続けたいと考えています。

持続可能な社会と食生活のために、私たちが提供する穀物製品の責務は確実な安全性。そのためにも、継続的な改善を図るマネジメントシステムを導入しました。「完成」のないマネジメントシステムです。「食の安全」への追及に終わりはありません。これは私たち高畑精麦が、創業以来、常に心がけていることです。年々高まる食の高い品質レベルへのニーズに精力的にお応えしてまいります。